



▲小学生たちは、冷たい風もなんのその！頬を真っ赤にしながらか2 km を走りきりました  
 ▲一般女子の部(3 km)で優勝した、多久高校の辻由加里選手

どんな困難も走りぬいて！

成人祝賀ロードレース大会

1月10日成人の日に、第48回多久市成人祝賀ロードレース大会が開催され、市内外から約500人が参加しました。この大会は「人生はマラソンのようなもの。どんな困難も走りぬいてほしい」と、新成人を激励する目的で毎年開いているものです。

雪が降る寒空の下、レース最大の難所となるゴール目の急な上り坂も、選手たちは残る力をふりしぼって駆け上がり、沿道からは「ファイト！」とひととき大きな声援が飛んでいました。

## 2 / 18(金) ~ 2 / 20(日)は 第51回 郡市対抗 県内一周駅伝 選手への応援をお願いします

多久市には20日(日)に巖木方面から10時頃に入り、産業技術学院中継所を10時25分頃に通過して北方方面に向かいます。沿道での温かい応援をお願いします。

五穀豊穡や家内安全を祈るもぐら〜打ち♪

たくさん館でもぐら棒づくりを手ほどき

子どもたちの元気な掛け声が響き、毎年恒例の伝統行事『もぐら打ち』が1月14日、市内各地で行われました。

これに欠かせない道具が専用棒。数十軒の家々を廻るので、頑丈な棒が必要です。そこで、昔ながらの棒作りも親子で体験し、行事を楽しんでほしいと多久農産物直売所「たくさん館」が参加者を募集。1月8日、直売所西の広場に砂原と筋原の子どもクラブやチラシで集まった親子約60人が参加しました。

柔らかくしなるので最適とされるめんそうの木や稲ワラ、カズラなどが準備され、会員やJA職員がもぐら打ちの意味を伝えながら、頑丈に作るコツや刃物の安全な使い方などを指導。それぞれの身長に合わせたサイズに仕上がると、叩いた音の違いで出来上がりのよさを実感していました。参加した父親は「昨年までは買っており、初挑戦は全てが難しかった。この作業も各家庭で子や孫へと受け継がれていたのでしょうか、今は材料を揃えるのも困難。地域の方々とふれあいながら教えていただいていた」と話し、本番に備えていました。



▲材料を揃えて順を待つ参加者

## 新年をもっと良い年に

12/31 ~ 1/1

「みなさんに“七つの幸せ”を」と、大みそかから新年にかけてカウントダウンで新年を迎えるイベントが多久市物産館の南側広場で行われ、雪にもかかわらず多くの人で賑わいました。お火たきで1年の厄を払い、除夜の鐘をついた限定108人には、まんじゅうをプレゼント。多久市女性ネットワークがふるまったしょうが湯は、冷えたからだを温めて新しい年の健康を願ったものでした。多久聖廟では受験生などが初詣に訪れ、合格を祈願していました。



## おめでとう バドミントン 全国小学生選手権 銅メダルに2組が輝く！

12/24 ~ 12/28

第19回全国小学生バドミントン大会(愛媛県松山市)で、男子5年以下ダブルスの古賀健太郎(牛津小)・荒谷亮(東部小)組と、女子4年以下ダブルスの田中果帆(北部小)・江里口梨奈(東部小)組が銅メダルを受賞。多久スポーツピアで出場した4人は、「少しでも上位に行きたかったのでうれしい」と。田中昌樹監督は「全国3位は初めて。創部20周年に花を添えてくれました」と話し、次の全国大会出場を目指し練習に励んでいました。

